



2025年5月20日

各 位

会 社 名 エスフーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 村上 真之助
(コード：2292、東証プライム)
問合せ先 取締役管理本部長 鵜木 健治
(TEL. 0798-43-1065)

(訂正・数値データ訂正)「2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2025年4月14日に公表いたしました「2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせをいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の理由

公表後に記載内容・数値データに一部誤りがあることが判明しましたので、これを訂正いたします。

2. 訂正の内容

訂正箇所には、下線を付して表示しております。

【訂正前】

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年2月期	7,277	△15,026	△1,923	41,276
2024年2月期	8,952	△14,465	7,335	49,597

【訂正後】

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年2月期	7,375	△15,016	△2,031	41,276
2024年2月期	8,952	△14,465	7,335	49,597

【訂正前】

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて83億2千万円減少し、412億7千6百万円となりました。

当連結結果計期間における営業活動による各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、72億7千7百万円の収入（前連結会計年度は89億5千2百万円の収入）で、主な増加要因は税金等調整前当期純利益65億3百万円、減価償却費43億7千1百万円、棚卸資産の減少11億6千9百万円であります。一方、主な減少要因は投資有価証券売却益12億2百万円及び法人税等の支払額36億3百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、150億2千6百万円の支出（前連結会計年度は144億6千5百万円の支出）で、支出の主なものは有形固定資産の取得による支出115億8千7百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出23億5千万円、貸付金による支出28億3千7百万円及び定期預金の純増額10億2千8百万円であります。一方、収入の主なものは投資有価証券の売却による収入14億4千8百万円及び貸付金の回収による収入12億4千6百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、19億2千3百万円の支出（前連結会計年度は73億3千5百万円の収入）で、支出の主なものは長期借入金の返済による支出99億9千9百万円及び配当金の支払額27億1千9百万円であります。一方、収入の主なものは短期借入金の純増額20億円7千7百万円及び長期借入による収入90億円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期
自己資本比率	53.8	53.0	52.8
時価ベースの自己資本比率	43.0	44.1	32.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	330.3	<u>568.7</u>	<u>763.9</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ	51.3	<u>32.9</u>	<u>19.8</u>

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

【訂正後】

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて83億2千万円減少し、412億7千6百万円となりました。

当連結累計期間における営業活動による各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、73億7千5百万円の収入（前連結会計年度は89億5千2百万円の収入）で、主な増加要因は税金等調整前当期純利益65億3百万円、減価償却費43億7千1百万円、棚卸資産の減少12億1千8百万円であります。一方、主な減少要因は投資有価証券売却益12億2百万円及び法人税等の支払額38億3千万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、150億1千6百万円の支出（前連結会計年度は144億6千5百万円の支出）で、支出の主なものは有形固定資産の取得による支出115億8千7百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出23億5千万円、貸付金による支出28億3千7百万円及び定期預金の純増額10億2千8百万円であります。一方、収入の主なものは投資有価証券の売却による収入14億5千8百万円及び貸付金の回収による収入12億4千6百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、20億3千1百万円の支出（前連結会計年度は73億3千5百万円の収入）で、支出の主なものは長期借入金の返済による支出99億9千9百万円及び配当金の支払額27億1千9百万円であります。一方、収入の主なものは短期借入金の純増額20億円7千7百万円及び長期借入による収入90億円です。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期
自己資本比率	53.8	53.0	52.8
時価ベースの自己資本比率	43.0	44.1	32.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	330.3	589.9	753.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ	51.3	31.7	20.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

【訂正前】
連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
売上高	425,011	444,546
売上原価	373,134	399,084
売上総利益	51,876	45,461
販売費及び一般管理費	39,203	40,318
営業利益	12,673	5,143
営業外収益		
受取利息	411	517
受取配当金	401	603
受取家賃	157	219
持分法による投資利益	3	4
為替差益	677	-
その他	675	492
営業外収益合計	2,328	1,837
営業外費用		
支払利息	282	372
アレンジメントフィー	110	-
為替差損	-	44
賃貸原価	42	52
その他	175	122
営業外費用合計	610	591
経常利益	14,390	6,388
特別利益		
固定資産売却益	54	8
関係会社株式売却益	1,184	-
投資有価証券売却益	145	1,202
補助金収入	1,584	-
負ののれん発生益	-	4
関係会社清算益	33	-
特別利益合計	3,002	1,215
特別損失		
固定資産処分損	48	92
減損損失	551	5
店舗閉鎖損失	1	4
固定資産圧縮損	1,583	-
投資有価証券売却損	4	-
投資有価証券評価損	340	-
貸倒引当金繰入額	-	711
棚卸資産廃棄損	-	70
子会社譲渡関連損失	-	215
特別損失合計	2,529	1,100
税金等調整前当期純利益	14,862	6,503
法人税、住民税及び事業税	4,154	3,879
法人税等調整額	970	△559
法人税等合計	5,124	3,320
当期純利益	9,738	3,183
非支配株主に帰属する当期純利益	664	515
親会社株主に帰属する当期純利益	9,073	2,667

【訂正後】
連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
売上高	425,011	444,546
売上原価	373,134	399,084
売上総利益	51,876	45,461
販売費及び一般管理費	39,203	40,318
営業利益	12,673	5,143
営業外収益		
受取利息	411	517
受取配当金	401	603
受取家賃	157	219
持分法による投資利益	3	4
為替差益	677	-
その他	675	492
営業外収益合計	2,328	1,837
営業外費用		
支払利息	282	372
アレンジメントフィー	110	-
為替差損	-	44
賃貸原価	42	52
その他	175	122
営業外費用合計	610	591
経常利益	14,390	6,388
特別利益		
固定資産売却益	54	8
関係会社株式売却益	1,184	-
投資有価証券売却益	145	1,202
補助金収入	1,584	-
負ののれん発生益	-	4
関係会社清算益	33	-
特別利益合計	3,002	1,215
特別損失		
固定資産処分損	48	92
減損損失	551	5
店舗閉鎖損失	1	4
固定資産圧縮損	1,583	-
投資有価証券売却損	4	-
投資有価証券評価損	340	-
貸倒引当金繰入額	-	711
棚卸資産廃棄損	-	70
子会社譲渡関連損失	-	215
特別損失合計	2,529	1,100
税金等調整前当期純利益	14,862	6,503
法人税、住民税及び事業税	4,154	4,105
法人税等調整額	970	△785
法人税等合計	5,124	3,320
当期純利益	9,738	3,183
非支配株主に帰属する当期純利益	664	515
親会社株主に帰属する当期純利益	9,073	2,667

【訂正前】

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	14,862	6,503
減価償却費	4,800	4,371
減損損失	551	5
のれん償却額	62	92
負ののれん発生益	-	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	278	△71
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	762
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△27	△8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△8	△73
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△12	△19
受取利息及び受取配当金	△813	△1,120
支払利息	282	372
投資有価証券売却損益 (△は益)	△140	△1,202
関係会社株式売却損益 (△は益)	△1,184	-
固定資産処分損益 (△は益)	48	92
固定資産売却損益 (△は益)	△54	△8
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,536	42
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6	1,169
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,226	492
補助金収入	△1,584	-
固定資産圧縮損	1,583	-
未払消費税等の増減額 (△は減少)	920	△751
その他	△491	△527
小計	13,306	10,118
利息及び配当金の受取額	974	1,129
利息の支払額	△282	△366
法人税等の支払額	△5,046	△3,603
補助金の受取額	0	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,952	7,277
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△0	△1,028
有形固定資産の取得による支出	△12,748	△11,587
有形固定資産の売却による収入	116	31
無形固定資産の取得による支出	△151	△38
投資有価証券の取得による支出	△884	△11
投資有価証券の売却による収入	289	1,448
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△2,350
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	51
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による支出	△3,120	-
貸付けによる支出	△831	△2,837
貸付金の回収による収入	1,114	1,246
補助金の受取額	1,583	-
その他	166	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,465	△15,026

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,965	2,077
長期借入れによる収入	20,600	9,000
長期借入金の返済による支出	△6,502	△9,999
社債の償還による支出	△100	△100
配当金の支払額	△2,559	△2,719
非支配株主への配当金の支払額	△75	△94
その他	△60	△87
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,335	△1,923
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,076	1,351
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,899	△8,320
現金及び現金同等物の期首残高	46,601	49,597
非連結子会社の連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	96	-
現金及び現金同等物の期末残高	49,597	41,276

【訂正後】

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	14,862	6,503
減価償却費	4,800	4,371
減損損失	551	5
のれん償却額	62	92
負ののれん発生益	-	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	278	△71
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	762
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△27	△8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△8	△73
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△12	△19
受取利息及び受取配当金	△813	△1,120
支払利息	282	372
投資有価証券売却損益 (△は益)	△140	△1,202
関係会社株式売却損益 (△は益)	△1,184	-
固定資産処分損益 (△は益)	48	92
固定資産売却損益 (△は益)	△54	△8
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,536	234
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6	1,218
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,226	259
補助金収入	△1,584	-
固定資産圧縮損	1,583	-
未払消費税等の増減額 (△は減少)	920	△751
その他	△491	△210
小計	13,306	10,442
利息及び配当金の受取額	974	1,129
利息の支払額	△282	△366
法人税等の支払額	△5,046	△3,830
補助金の受取額	0	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,952	7,375
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△0	△1,028
有形固定資産の取得による支出	△12,748	△11,587
有形固定資産の売却による収入	116	31
無形固定資産の取得による支出	△151	△38
投資有価証券の取得による支出	△884	△11
投資有価証券の売却による収入	289	1,458
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△2,350
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	51
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による支出	△3,120	-
貸付けによる支出	△831	△2,837
貸付金の回収による収入	1,114	1,246
補助金の受取額	1,583	-
その他	166	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,465	△15,016

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,965	2,077
長期借入れによる収入	20,600	9,000
長期借入金の返済による支出	△6,502	△9,999
社債の償還による支出	△100	△100
配当金の支払額	△2,559	△2,719
非支配株主への配当金の支払額	△75	△94
その他	△60	△195
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,335	△2,031
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,076	1,351
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,899	△8,320
現金及び現金同等物の期首残高	46,601	49,597
非連結子会社の連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	96	-
現金及び現金同等物の期末残高	49,597	41,276

【訂正前】

(セグメント情報等)

当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	食肉等の 製造・卸売事 業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じ る収益	411,598	24,049	8,126	443,774	771	444,546	—	444,546
外部顧客への売上高	411,598	24,049	8,126	443,774	771	444,546	—	444,546
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,658	104	661	8,424	762	9,186	△9,186	—
計	419,256	24,153	8,788	452,199	1,533	453,733	△9,186	444,546
セグメント利益 又は損失(△)	4,353	1,314	486	6,154	123	6,278	△1,135	5,143
セグメント資産	201,036	12,606	6,118	219,760	47,827	267,588	△36,993	230,595
その他の項目								
減価償却費	3,967	197	104	4,269	50	4,319	36	4,356
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	11,289	269	197	11,756	218	11,975	16	11,991

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、冷蔵倉庫業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,135百万円には、セグメント間取引消去350百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,485百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

セグメント資産の調整額△36,993百万円は、セグメント間取引消去△53,923百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産16,930百万円が含まれております。全社資産の主なものは、各報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社における余剰運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券等)及び本社建物等であります。

減価償却費の調整額36百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは各報告セグメントに帰属しない親会社の本社建物及び情報通信システム等の減価償却費であります。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額16百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の取得によるものであり、その主なものは各報告セグメントに帰属しない親会社の本社間接部門による什器備品及びソフトウェアの取得であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【訂正後】

(セグメント情報等)

当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	食肉等の 製造・卸売事 業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じ る収益	411,598	24,049	8,126	443,774	771	444,546	—	444,546
外部顧客への売上高	411,598	24,049	8,126	443,774	771	444,546	—	444,546
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,658	104	661	8,424	762	9,186	△9,186	—
計	419,256	24,153	8,788	452,199	1,533	453,733	△9,186	444,546
セグメント利益 又は損失(△)	4,353	1,314	486	6,154	123	6,278	△1,135	5,143
セグメント資産	201,036	12,606	6,118	219,760	47,827	267,588	△36,993	230,595
その他の項目								
減価償却費	3,935	197	104	4,237	50	4,287	36	4,324
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	11,332	269	154	11,756	218	11,975	16	11,991

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、冷蔵倉庫業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,135百万円には、セグメント間取引消去350百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,485百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

セグメント資産の調整額△36,993百万円は、セグメント間取引消去△53,923百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産16,930百万円が含まれております。全社資産の主なものは、各報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社における余剰運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券等）及び本社建物等であります。

減価償却費の調整額36百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは各報告セグメントに帰属しない親会社の本社建物及び情報通信システム等の減価償却費であります。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額16百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の取得によるものであり、その主なものは各報告セグメントに帰属しない親会社の本社間接部門による什器備品及びソフトウェアの取得であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

以 上